

\*\*\*\*\*  
メルマガ全部協プライムニュース

2017年10月号

<http://zenbukyo.or.jp>

\*\*\*\*\*  
このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信  
希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまに  
お送りしております。  
\*\*\*\*\*

C O N T E N T S

※メルマガの配信容量を抑えるために、添付資料(付録など)を、  
一部を除き、記事の中に記載の URL からダウンロードにより配信しています。  
お手数をおかけしますが、記事中に記載されている URL からダウンロードして  
ご確認ください。

1. 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
2. 「オートモーティブプライムニュース」とは
3. 全部協活動報告
  - 1) 事業運営委員会(9月13日)
  - 2) 経営組織委員会(9月14日)
  - 3) 第19回編集委員会(9月28日)
  - 4) 臨時事業運営委員会(9月28日)
4. 支部・ブロック協議会活動報告
  - 1) 全九部理事会(9月14日)
  - 2) 福部商理事会(9月15日)
5. 統計情報
  - 自動車販売統計
  - 整備工場統計
6. 事務局からのお知らせ
  - 1) 平成29年度「基礎統計・取引実態調査」アンケート(10月～11月実施)
  - 2) 「自動車点検整備推進運動」の強化月間
  - 3) 東京モーターショー2017
  - 4) 大阪モーターショー2017
  - 5) 「ZEN-bukyo モール」及び「ZEN-bukyo Tool モール」公開時期と

利用方法について

- 6) あっせん販売商品の紹介
- 7) 「共同購買サイト」掲載商品
- 8) 「共同購買サイト」の“お知らせ”から
- 7, 全部協議・活動日程 【pdf あり】
- 8, メルマガ配信アドレス登録お願い
- 9, 付録
  - 1) 「ZEN-bukyoTool モール」専用カタログ及び  
専用ショッピングサイト案内 【pdf あり】
  - 2) メルマガ添付版: デッドストック部品運用ガイドライン 【pdf あり】
  - 3) ビジネスレポート・・・大同生命 【pdf あり】
  - 4) 東京モーターショー2017 案内 URL  
<http://www.tokyo-motorshow.com/>
  - 5) 大阪モーターショー2017 案内 URL  
<http://www.osaka-motorshow.com/>
  - 6) 大阪モーターショー2017 案内チラシ 【pdf あり】
  - 7) リパーツダイレクトの広告
  - 8) PB 商品の広告
  - 9) その他の広告リンク  
・ショーワグローブ株式会社

1 | 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。

ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を  
発信します。

ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

2 | 「オートモーティブプライムニュース」とは

イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。

ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。

ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、  
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して  
参ります。

ニ、<希望を募り「無料」で>組合員・賛助会員へ配送します。

ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

## 1) 事業運営委員会(9月13日)

全部協は第19回事業運営委員会・情報専門部会を  
平成29年9月13日(水)11時00分から、全部協(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 平成29年度第1四半期互換入力者報賞
- (2) ITS サービス高度化機構(ITS-TEA)との会談結果報告
- (3) 「ZEN-bukyo モール」サイトアップ準備状況
- (4) 大手商事グループへの対応について
- (5) 鉛バッテリー活性化装置(リフレッシュャー)の販売提案
- (6) 実務者研修会地方開催スケジュール
- (7) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

### 1. 平成29年度第1四半期互換入力者報賞

事務局から前回の委員会(第18回事業運営委員会、7/21開催)で  
結論が見送りになっていた「平成29年度第1四半期互換入力者報賞」の  
再確認を行い、以下のとおり了承されました。

第1位	(有)竹之下部品商会 本店	6,820 ポイント
第2位	ダイヤ自動車(株)福島営業所	4,239 ポイント
第3位	西濃産業株式会社 揖斐営業所	956 ポイント
第4位	(有)梅原自動車部品 本店	940 ポイント
第5位	(有)タルモト商会 本店	780 ポイント
第6位	(株)福博モーター商会 本店	580 ポイント
第7位	(有)盛岡自動車部品 本社	375 ポイント
第8位	(有)木下部品 本店	331 ポイント

なお、再確認の要点は、入力データの修正の取り扱いをポイントに  
加えるかどうかでした。従来から入力データの間違い修正を新たな  
データ入力と同等にしていることから、システム管理会社に過去の  
集計についてその確認を行っていました。

### 2. ITS サービス高度化機構(ITS-TEA)との会談結果報告

情報専門部会は、7月10日に行ったITS-TEAとの打合せで、指摘され、

宿題となっていた以下の2点について回答を持ち、9月12日に再々の会談をITS-TEAに出向き行いました。その結果の報告がありました。

1)ITS-TEA から指摘されていた宿題

- (1)セットアップ業務マニュアルの提示
- (2)新たなセットアップ店希望組合員リストに  
既存セットアップ店表示

2)会談結果(詳細略)

業務フロー及びセットアップ希望組合員リスト共に  
了承されました。

また、全部協がETC2.0セットアップ事業者登録申請することについて、ITS-TEAに了解していただきました。

3)今後の予定

できるだけ早い段階で、事業者登録申請を行うべく作業を進める  
予定です。委員長から、遅くとも来年の1月以降には申請が  
受理されるように持っていく意向が表明されました。

3、「ZEN-bukyo モール」サイトアップ準備状況

情報専門部会から「ZEN-bukyo モール」サイトの準備状況の  
説明がありました。

1)デッドストック品掲載状況

デモサイト版への掲載数が20点とまだ目標の200点に届いていない  
ことから、事業運営委員メンバーへの再度の掲載協力要請と、経営組織  
委員会メンバーへの掲載協力要請を行うことを確認しました。

経営組織委員会メンバーへ協力をお願いするために、サイトアップに  
不慣れであることに配慮し、「デッドストック商品登録依頼用紙」を  
作り、協力を依頼することになりました。

2)「ZEN-bukyo Tool モール」サイトとそのカタログ冊子の準備状況

通販事業社と共同で進める「ZEN-bukyo モール」サイトと  
カタログ冊子制作の準備状況(進捗状況)について、十分把握できて  
いないことから、通販事業者との打合せを持つことを確認しました。

3)「ZEN-bukyo モール」サイトアップ日程について

「ZEN-bukyo モール」サイトの組合員への公開日程を10月2日(月)  
の午後13時にすることを委員会の場で確認しましたが、その後、  
「ZEN-bukyo モール」サイト制作委託会社と情報専門部会と  
の調整話し合いで、データ構造の大幅な変更を要することから、  
10月中旬以降に延期することになりました。

#### 4. 大手商事グループへの対応について

事業運営委員長へ大手商事グループ会社からさまざまなオファーがなされています。そのことから、そのグループ会社への対応について委員長から確認がありました。

大手商事グループ会社にはさまざまな自動車関連商材(リサイクル部品、リビルト部品、新品部品、用品の類いなど)の取り扱いがあり、「ZEN-bukyo モール」や「ZEN-bukyoTool モール」などのサイトを媒体として、それらの商材を全部協が販売できる可能性があります。今後とも大手商事グループ会社とは情報交換を重ねその共有を図っていく方針を確認しました。

#### 5. 鉛バッテリー活性化装置(リフレッシュャー)の販売提案

地方の組合員からの紹介で、鉛バッテリー活性化装置(リフレッシュャー)の商品取り扱いの提案がありました。提案の趣旨は全部協組合員へ広く販売取り扱いの協力を得たいとするものです。この提案は、当該組合員の地域で従来から紹介されていることから、その事情に詳しい事業運営委員会のメンバーが試用して、効果の程度を確認する事にしました。

鉛のサルフェーションを抑制する方法は予めから多くの研究が有り、また多数の商品提案がなされています。その効果を把握するのに長い時間(期間)を要することから判別しにくい事情があります。自動車用のバッテリーへの採用を勧めるよりも、バッテリー駆動の産業用機器への提案が、バッテリー交換費用が高価なことから、向いているとの意見が多く出されました。

#### 6. 実務者研修会地方開催スケジュール

今年度の事業運営委員会の事業計画には、共同購買事業やWEB共通互換品番システム事業などの収益事業への組合員参加をより多く募るために、地域に出向いて実務者を対象にした研修会を開催することを掲げています。

その開催方法と開催時期について確認しました。

研修会開催テーマは、以下のとおりです。

イ、「ZEN-bukyo モール」および「ZEN-bukyoTool モール」の利用方法解説

ロ、「WEB共通互換品番システム」利用方法解説

ハ、部品商業務の改善提案として DocuWorks※の活用

ニ、ETC2.0 セットアップ事業者登録に伴うセットアップ店募集案内及び、セットアップ作業手順の解説

※富士ゼロックス(株)の登録商標です。

##### 1)開催方法

平成 26 年から地域毎に、「共同購買サイト」と「WEB共通互換

品番システム」の利用方法と、DocuWorks の活用方法の解説を行ってきました。このときには、理事長の経営者向け講演に併催していたことから、主に社長の参加が多く、実際にサイトやシステムを利用する実務者の参加が少ないものでした。実務者向けの研修会は、東北ブロックで仙台と盛岡の 2 カ所に分けて開催したのみにとどまります。このときには、ブロック長と県組合の理解と協力が得られたことが実務者を中心にした研修会開催に結びつきました。

議論の結果、東北ブロックの例を踏まえ、地域毎にプロモーター役を指名して開催する方法を探ることになりました。

## 2)開催時期の調整の仕方について

多くの実務者の参加を募るには研修会開催頻度(参集する機会)を少なくする意見と、他方、多くのテーマを一度の研修で行っても消化不良に陥りがちになる指摘があります。

また、研修テーマとして掲げる案件の準備期間との関係から、同じ時期に必ずしも開催できない以下の事情もあります。

- (1)ZEN-bukyo モールは 10 月以降に組合員へ公開される
- (2)ZEN-bukyoTool モール公開も ZEN-bukyo モールとほぼ同時期になる
- (3)ETC2.0 セットアップ事業者登録は委員会と理事会での確認作業が有り、その日程から年明けになる。

意見調整の結果、セットアップ手順遵守の周知広報を、機会を重ねて継続して行っていくことが ITS-TEA から求められている事情を踏まえ、(3)(ETC セットアップ)に関しては、他のテーマと切り離して地域と調整することになりました。

## 7. その他

### 1)協賛企業からのプレゼン

協賛企業からの申し入れで、ドライブレコーダの新規商品開発について、そのメーカー同席のもとで意見交換を行いました(詳細略)。ドライブレコーダの新たな用途とそれに適った商品展開の意向をメーカーは持っています。

### 2)「群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会」

#### への入会

事業運営委員会のメンバーにお願いして、9 月 5 日(火)に開催された表題の協議会設立総会に、全部協として出席しました。そのときに、同協議会への入会(会費無料)と、同研究会入会(会費 50 万円/年)の誘いを受けました。

当委員会で、理事長の意向を確認し、協議会入会(会費無料)を申し込むことにしました。

なお、群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会は先の総代会で自動運転技術の講演をいただいた、小木津先生が中心に活動する協議会です。

---

## 2) 経営組織委員会(9月14日)

全部協は第17回経営組織委員会を平成29年9月14日(木)11時00分から、全部協(東京上野)で開催しました。

議題は以下のとおりです

- (1) 組合員加入脱退承認について
- (2) 第32回定例理事会の決議を受けて
- (3) 総代選挙手続き進捗状況報告
- (4) 「基礎統計・取引実態調査」について
- (5) 賛助会員加入申込み取り扱いについて
- (6) 自動車メーカーからの共同提案

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームでご確認ください。

### 1. 組合員加入脱退承認について

事務局から以下が報告され次回理事会(10月20日開催の第33回定例理事会)に諮ることになりました。

#### 1) 組合員同士による事業統合脱退

以下の組合員2社から事業統合の申し入れがあり、その一方の組合員は平成29年9月21日付けで脱退となります。

##### (1) 事業統合する組合員

- ・(有)高野部品商会 長野県佐久市 代表者 高野俊昭 氏
- ・上高地自動車(株) 長野県松本市 代表者 前田祐一 氏

##### (2) この事業統合による存続会社

上高地自動車(株)を存続会社とし、(有)高野部品商会は全部協から法定脱退となります。

##### (3) 出資持ち分の継承

(有)高野部品商会の出資持ち分を、上高地自動車(株)にそのまま継承します。

## 2) 組合への加入

以下の部品商から全部協への加入申込みがありました。

次回理事会(10月20日開催の第33回定例理事会)に諮り承認を得ることになります。

### (1) 松島部品販売(株)

宮城県仙台市 代表者 千田 剛 氏 出資口数 1口

### (2) (株)大徳

宮城県仙台市 代表者 三浦 宏 氏 出資口数 2口

## 3) 組合員数状況

平成29年10月末(理事会承認後)の組合員数は、現459社から脱退1社、加入2社となり、合計、460社となる予定です。

## 2. 第32回定例理事会の決議を受けて

8月4日に開催した第32回定例理事会で、今後の全部協の運営体制と活動方針が確認されました。

### (1) 次期役員の改選について

### (2) 理事長、副理事長の再選について

### (3) 事務局体制について

### (4) 地方での委員会開催について

### (5) 実務者研修会開催方法について

### (6) 財源対策について((1)賦課金の値上げ(2)互換利用料値上げ、など)

これらについて、フリートーキングで意見交換し、以下の結論を得ました。

#### 結論1: 専門委員会を作り次の事項について議論を煮詰める

##### (1) 全部協の財政基盤改善策について

1) 賦課金の値上げ

2) 互換の値上げ

3) 共同事業の進め方

##### (2) 次期執行部体制について

1) 役員体制

2) 委員会体制 他

#### 結論2: 専門委員会のメンバーと活動スケジュール

##### (1) メンバー

新戸部理事長、森川委員長、佐藤委員、前田委員、柄崎委員、香川委員。その他適宜経営組織委員会メンバーが参加する。

## (2)活動スケジュール

- 1) 来年3月の経営組織委員会(第19回、3月14日開催)までに4月開催の理事会(第35回定例理事会で第5回通常総代会の前)へ諮ることができる提案をとりまとめる
- 2) したがって、12月開催の委員会(第18回、12月7日開催)には、そのDraftを提案できるまでを目標にする
- 3) 専門委員会の開催日時は、開催の都度その中で決めていく(スケジュールに間に合うように適宜開催頻度を調整する)

## 3. 総代選挙手続き進捗状況報告

事務局から資料を基に総代選挙手続きの報告がありました。  
報告された、内容は以下のとおりです。

- 1) 第3回総代選挙の実施に係わる告示書送付と選挙協力お願いについて  
9月25日発行予定の、理事長署名文書で、全組合員宛送付。

### 2) 第3回総代選挙の告示

同上、理事長と選挙管理委員会の文書で、以下の項目内容。

- 1) 選挙管理委員会の委員長及び委員の指名について
- 2) 総代の選挙地区及び地区別定数
- 3) 総代の立候補届出書等の提出期限
- 4) 被選挙対象候補者名簿と投票用紙の選挙公報
- 5) 選挙の実施及び方法
- 6) 投票の方法
- 7) 選挙人及び被選挙人
- 8) 開票期日
- 9) 当選者への通知と就任依頼と決定及び総代名簿の全組合員への周知
- 10) 別紙として
  - ・様式1 総代候補者立候補届
  - ・様式2 総代候補者推薦届

## 4. 「基礎統計・取引実態調査」について

平成29年度の「基礎統計・取引実態調査」アンケート内容と日程について確認を行ないました。

- 1) 平成28年度のアンケート項目を基に、以下の修正案が提案され  
了承されました

### <修正提案の内容>

「Q16: 補修部品商材別売上高比率について」の商材の項目を減らし、  
単純化して、回答者の負担を減らす。

現状 10 商材について売上高比率を求めているところを 4 商材に減らす。  
減らした後の 4 商材を以下とする。

- 1) 優良部品
- 2) リサイクル・リビルト部品
- 3) 純正部品
- 4) その他

## 2) スケジュールについて

回答者の負担軽減を図り、アンケート期間を早め、年末年始を避けることにしました。については、アンケート配布を 10 月初旬に行い、回答期限を遅くとも 11 月初旬までに行います。その方向で委託会社と調整することになりました。

## 5. 賛助会員加入申込み取り扱いについて

前日(9/13 開催)の第 19 回事業運営委員会で部品検索システム会社から賛助会員申込みのプレゼンを受け、オブザーバー参加の事業運営委員長から当該委員会での議論の結果を報告し、この経営組織委員会においても了承されました。

### < 事業運営委員長からの報告内容 >

- 1) 部品検索システム会社を賛助会員として迎えることをしばらく見送る
- 2) 事業運営委員会で、当該部品検索システムの検証を行う  
機能説明が実際に部品商業務に使いやすいものになっているかの検証を事業運営委員会として行う。

## 6. 自動車メーカーからの共同提案

事業運営委員会では自動車メーカーから組合員向けに車両のあっせん販売を行う計画を検討しています。そのことを事務局から報告しました。

多くの企業でも自動車メーカー各社からの申し入れで、従業員向けに当該メーカーの車両購入をあっせんしています。紹介料としての値引き特典が与えられることで、乗り換え時期の社員に利用が多くあります。

全部協でも同様に乗り換えなし、同メーカー車両を利用している組合員に活用してもらえるものと考えています。

---

## 3) 第 19 回編集委員会(9 月 28 日)

全部協は第 19 回編集委員会を平成 29 年 9 月 28 日(木)10 時から、全部協会議室(東京上野)で開催しました。

議題は以下の通りです

- (1) メールマガジン「メルマガ全部協プライムニュース」発行について
- (2) 「オートモーティブプライムニュース」第9号(9月号)掲載記事について
- (3) 第10号(11月号)紙面構成についての確認
- (4) 配送負担軽減について
- (5) その他

これらの議題をもとに、委員により以下の意見交換を行いました。

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームでご確認ください。

#### 1. メールマガジン「メルマガ全部協プライムニュース」発行について

- 1) 現在は事務局で記事を作成して、それをもとに編集委託会社が発行を担当しています。今後は事務局が記事作成・編集を行う方向に変え、将来的には記事作成から発行までを全て事務局内で行うことを目指していく方針を確認しました。
- 2) 現状の課題として、記事が冗長すぎるとの意見があがっています。メルマガの記事は組合員向けの案内や活動報告が中心になっていますが、もっと簡潔かつ、わかりやすい内容にすることが求められています。またメール容量が大き過ぎると受信の支障になるという問題点もあり、今後は全部協ホームページやフェイスブックとの連携も視野に入れながら、改善策を検討していくことになりました。

#### 2. 「オートモーティブプライムニュース」第9号(9月号)掲載記事について

- 1) 第9号の記事内容について、組合員から特にネガティブな反応は聞かれず、おおむね好評であったことが報告されました。
- 2) 8面に掲載した専門钣金塗装工場のテュフ認証取得の記事については、整備工場におけるテュフ認証への認知は現状では低いものの、将来損保会社が、整備・钣金工場を評価する基準とされ、取得の動きが広がっていくことも予想されます。そのため、自動車業界の新たな潮流としていち早く取り上げました。
- 3) その他、3面に掲載した手洗い洗車(本庄興産)の広告については、編集委託先へ問い合わせが寄せられるなどの反響がありました。また、2面掲載のGMOクラウドおよびジョイカルの新サービスについては次号でインタビュー掲載も予定しています。

#### 3. 第10号(11月号)紙面構成についての確認

- 1) 第9号1面で掲載した自動車大学校の話題を、10号でも引き続き中面で掲載します。同学校の記事はあと2回ほど掲載予定しています。その他、

レギュラー企画であるメカニカルレポート、新車ランキング、話題の新型車、イベントカレンダー、コラム、ビジネスマナーも予定どおり継続して掲載します。

2)その他の記事では、自動車業界の大きな話題として、10月27日から開催する「東京モーターショー2017」のレポートを掲載予定です。イベント関連では「シーテックジャパン 2017」(10月3～6日開催)や「国際福祉機器展」(9月27～29日)における自動車関連の展示紹介や、「第10回大阪モーターショー」(12月8～11日開催予定)の告知なども検討しています。

3)国土交通省がナンバー自動読取器を導入し、車検切れ車両の取り締まり強化に取り組むという話題を取り上げます。またこれに関連した話題として、分解整備業における回送運行許可基準の要件緩和が12月から正式にスタートすることを取り上げる予定です。整備工場が車検切れ車両を陸運局へ持ち込む際の負担軽減につながり、整備業界からの関心も高いと思われれます。

4)8月に行われた葬儀・葬祭等関連産業の専門展示会「エンディング産業展 2017」では、車両カスタマイズを手がける企業が市販車をベースとした霊柩車を出展しています。このように新たな産業・分野に進出している自動車関連企業の実例を取り上げることも興味深いのではないかという意見がありました。

#### 4. 配送負担軽減について

広告掲載料が伸び悩む一方で、配送費のコスト負担が過重となっています。このため特に発注部数の少ない組合員については紙媒体ではなく電子版に置き換えるなど、負担軽減策を講じてほしいとの要望がありました。

全部協からは、発注数が一定数に満たない組合員についてはPDFでの配布に切り替える、または、全国の各支部に機関誌を一括配送し支部から各組合員へ配布してもらうなどの案を提案しました。広告掲載促進の件と併せ経営組織委員会で協議・検討していく予定です。

#### 5. その他

##### 1)次回委員会開催予定日

10月24日の週を予定します。

##### 2)メルマガ10月号の発行時期

10月11日(水)を予定します。

---

#### 4) 臨時事業運営委員会(9月28日)

全部協は臨時の事業運営委員会を平成29年9月28日(木)13時00分から、全部協(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 通販事業者との業務提携に関する打ち合わせ
- (2) 事故車修理費見積システム会社との意見・情報交換
- (3) ETC2.0 車載器セットアップ事業者申請について
- (4) 「大阪モーターショー」のバナー広告掲載について
- (5) その他報告事項

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

#### 1. 通販事業者との業務提携に関する打ち合わせ

「共同購買サイト」のリニューアルに合わせ、通販事業者との業務提携による組合員専用通販サイト「ZEN-bukyo Tool モール」を開設し、整備工場向け工具・用品などを組合員へ販売する計画を進めています。また電子版とともに冊子版の専用カタログを作成し、組合員各社に希望部数を配布する予定です。

8月18日の臨時委員会で決定したタイムスケジュールよりも準備作業に遅れが出ているため、各工程の進捗状況を確認し、今後の具体的スケジュールについて協議しました。また業務提携にあたり、受発注や代金回収等について通販事業者との覚書記載事項についても確認しました。

#### 1) 今後のスケジュールについて

##### (1) カタログ制作と専用サイト制作のスケジュール

カタログに掲載する商品内容に問題がなく、全部協の確認後、すぐ作業を開始し、印刷、製本、梱包まで含め、約10日でカタログ制作は完了します。

また、専用サイトの製作については、10日から2週間程度の日数を要します。

##### (2) 事業開始の告知時期

案内書と専用IDおよびパスワード、必要な冊子カタログの部数などを記入する事前登録用の確認書を作成して、パンフレットとともに組合員へメールないしFAXで送付します。確認書の返送期限を10月13日とし、回収した確認書は同日にDISCOMへ事務局から送ることになりました。

##### (3) 「ZEN-bukyo モール」とのリンク時期

専用サイトは10月中旬から閲覧可能を予定します。10月初旬に「ZEN-bukyo モール」トップページに専用サイトへリンクする「ZEN-bukyo Tool モール」のバナーを貼付します。専用サイトが

開設するまでは、バナー上に「近日オープン」の文字を表示する  
予定です。

## 2) 受発注の流れと代金回収方法の確認および覚書の締結

(1) 受発注については、各組員が専用サイトまたは FAX から商品を  
発注して、通販事業者から直接商品を発送します。

(2) 専用サイトに未登録の組員が商品を購入する場合もあることを  
考慮し、通販事業者からは、商品に添付する納品書とは別に  
全部協にも納品内訳を送付してもらいます。

(3) 代金回収方法については、全部協から組員への請求内訳の送付は  
行わず、ウェブ上のみで完了させます(銀行引き落としの場合)。  
通販事業者への支払い条件は月末締め翌々月 20 日支払いとし、  
同社へ一括入金します。組員への請求条件は月末締め翌月末回収  
(振込または銀行自動引き落とし)、FAX での発注の場合、請求書は  
全部協から各組員へ送付します。

(4) クレーム・問い合わせ等には、通販事業者に対応してもらいます。

## 3) その他

「ZEN-bukyoTool モール」事業の組員への周知を図るために、現在事業  
委員が各支部や県組合の会合で行っている同事業の説明会に、  
通販事業者も参加してもらう予定です。

## 2. 事故車修理費見積システム会社との情報交換

部品検索システム市場は、1 社による寡占状態が続いており、代替システム  
会社を育てて、競合できる様にすることで市場での競争原理が働き、部品検索  
システム市場の健全化が期待できると考えられています。そのためには  
どの様にしたらよいか、また、どこをターゲットに働きかけて行ったら  
良いのか、事故車修理費見積システム会社と意見交換しました。

### 1) 事故車修理費見積システム会社の意見

意見交換の結果から、事故車修理費見積システム会社(以下システム会社と  
記載)の意見(見解)は、概ね以下の様に整理できます。

イ、環境さえ整えば部品情報を提供する意思是システム会社にある  
口、それにはメーカーの許諾を受けることが絶対条件となる

ハ、部品情報が1社に集中していることに問題意識をシステム会社は  
持っている

ニ、整備業者向けソフトに消耗部品情報を提供できるようになっているが、  
それは業界から声が上がったことがきっかけになった

- ホ、業界団体がまとまって自動車メーカーに対し情報提供の必要性を訴えていくことで、システム会社としても動きやすくなる
- へ、最大手であるトヨタ自動車が情報提供に応じれば、他メーカーも追随することが期待できる
- ト、システム会社では、今後部品などの消耗品も含め多方面へ広くサービスを提供していきたいと考えている

## 2) システム会社の意見を踏まえた全部協の見解

意見交換後に、委員メンバーで以下の様に整理し委員会の結論としました。

- イ、代替システム会社を育てるためには、最新の部品情報が安定的に供給されねばならない。
- ロ、そのためには、各自動車メーカーに情報提供を求めていくしか手段がないと思われる
- ハ、すでに各自動車メーカーでは独自にウェブによる部品検索システムを構築している
- ニ、純正部品を販売している自動車メーカーが、競合相手である優良部品の拡販につながる情報提供に協力することは現状では考えにくい
- ホ、現在の部品検索システム 1 社による市場の独占は、かえってそのために部品情報が流出せず新規参入が阻まれ、市場が守られているといった側面もある
- へ、仮に部品情報の提供を全部協が受けることになれば、全部協の責任は非常に大きなものとなり、慎重な対応が求められる

## 3. ETC2.0 車載器セットアップ事業者申請について

9月12日にITS サービス高度化機構(ITS-TEA)を事業運営委員会で訪問し、全部協がETC2.0 セットアップ登録事業者として申請することが受け付けられることになりました。その話し合いの報告が行われ、今後の作業予定と登録事業者としてITS-TEAに納める保証金の取り扱いについて確認を行いました。

### 1) 今後の予定

事務局から、ITS-TEA から送られて来た事業者申請に係わるマニュアルをもとに、提出を求められる資料の作成手順と、その確認を得るための委員会や理事会の開催日程の説明がありました。それらを考慮して、平成30年1月をめどに、ETC2.0 車載器セットアップ事業開始を目標に作業を進めることを確認しました。

### 2) セットアップ事業者申請から事業開始までの流れ

申請手続きの流れは以下の様に想定されます。来年からの事業開始に向け、これら手続きをスムーズに進める必要があります。

- (1)事業者申請書を提出
- (2)セットアップ業務統括責任者の選任届け出
- (3)統括責任者の捺印済み誓約書を提出
- (4)ITS サービス高度化機構での提出書類の審査・補正を経て再提出、
- (5)または、受理されると同時に、内定通知とともに同機構代表者の捺印済み契約書、保証金預書等が送付される
- (6)全部協の代表者の署名捺印した契約書類を提出し、保証金を振り込む。

### 3)事業者申請書と同時に届け出るセットアップ店の選定について

事業開始にあたり最低限必要とされるセットアップ店 5 店舗を最初に届ける必要があります。これについては、すでに申出をいただいている 5 店舗に改めて確認のうえ、登録申請を進める予定です。

### 4)保証金の設定について

全部協がセットアップ事業者になるメリットが組合員に理解されなければなりません。その観点から、全部協がセットアップ店として登録した組合員から預かる保証金については、慎重な議論が求められます。事業運営委員会での十分な議論を行い、10月20日の理事会に具体案を諮り承認を得ることを確認しました。

### 4.「大阪モーターショー」のバナー広告掲載について

全部協が協賛団体となっている「第10回大阪モーターショー」運営事務局からバナー広告を全部協のホームページとモーターショーの公式ホームページとで相互掲載する提案がありました。

これに応え、全部協のホームページに「第10回大阪モーターショー」のバナーを掲載することにしました。

しかし、モーターショーの公式ホームページに掲載するバナーのデザインと、リンク先を全部協のホームページにするかは、「ZEN-bukyo モール」の準備状況を観ながら判断することにしました。

### 5. その他報告事項

事務局および事業運営委員会メンバーの機関誌編集委員から、機関誌の広告掲載促進に向けた協力要請が機関誌発行委託先からあったことの報告がありました。広告掲載は機関誌発行継続には欠かせないことから、理事役員や委員会メンバーの協力をいただきながら、業界関係各社に働きかけていくことを確認しました。

## 1)全九部理事会(9月14日)

全九州自動車部品商組合※(川原忍会長、(株)川原自動車部品商会、鹿児島県)は9月14日(木)15時半より、福岡市博多区の八仙閣本店にて平成29年度第2回理事会を開催しました。

※全九部の会員数140社(6月1現在)

各県を代表して9名(会計含む、欠席者1名)が参加しました。

議題は、以下の通りです。

### <全九部理事会の議題>

- (1)三菱自動車の仕入れ割引率2%ダウンの件
- (2)WEB化に伴う回線使用料のバラツキについて
- (3)第80回全九部総会開催について

日時:平成30年3月10日(土)

場所:鹿児島県

総会:午後2時半~5時半

懇親会:午後6時~8時

※詳細は後日連絡があります。

- (4)全部協事業運営委員会報告

### <川原会長の挨拶>

鹿児島では指定整備工場による不正車検が発覚し、経営者他多数逮捕者がでるという悪質な車検整備が発覚しました。これからは更に厳しく陸自の調査が、全九州においても行われるでしょう。

しかしながら一部の整備工場ではありますが、車両整備という人の命を預かる事への責任感の無さや、安売りだけに走りすぎるというモラルの低下が嘆かれることです。我々自動車部品商は責任ある仕事をして行くことを心がけていきたい。

---

## 2)福部商理事会(9月15日)

福岡県自動車部品商組合(杠会長、(株)川原自動車部品商会、9月15日(金、16:00~18:00)、JR博多シティ(〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1)で平成29年度第2回理事会を開催しました。参加者11名、実務協1名含む。

### <会長挨拶>

前回の理事会開催後、朝倉地区が豪雨被害に遇いましたが組合員に直接的な

被害がなかったことが幸い。接近中の大型台風の被害が出ないことを先ずは祈ります。

業界においてはEV化の急速な進展等、想定外の変革が起こっており、身近なところでは九州三菱の価格変更通達もありました。

6月末には会員2社(前原部品・合谷自動車部品)が廃業に伴う退会といった残念な事象もありましたが、組合員相互の連携を図りながら難局を乗り越えたく思います。

#### <議事次第>

##### 1)全九部活動報告

##### 2)全部協活動報告

- (1)全部協モールの立ち上げ
- (2)ETC2.0 事業者登録
- (3)品番検索システム業者の新規参入
- (4)総代改選
- (5)カタログ販売の実施

##### 3)各支部状況報告

- <北九州支部>
- <福岡支部>
- <筑豊支部>
- <久留米支部>
- <大牟田支部>

##### 4)実務協活動報告

##### 5)その他

##### 6)次回理事会開催

12/8(金)大牟田にて開催、詳細は後日案内

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2017年9月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

2017年9月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/4soku>

6 | 事務局からのお知らせ

---

## 1. 「自動車点検整備推進運動」の強化月間(9月及び10月)

自動車は、使用期間や走行距離に応じて故障・劣化が生じることから、安全にご使用いただくためには、自動車ユーザーが責任を持って、適切に点検・整備を行うことが必要です。このため、国土交通省は、自動車関係団体等の協力を得て9月及び10月を強化月間として『自動車点検整備推進運動』を全国的に展開します。

### 1)平成29年度「自動車点検整備推進運動」の重点項目

- ・女性、若者(10代から30代の自動車ユーザー)をターゲットとした啓発
- ・長期車両ユーザーへの啓発
- ・大型車の車輪脱落・火災事故防止のための重点点検の実施
- ・エコ整備(点検・整備によるCO2削減効果)の啓発

### 2)強化月間における取組

#### 【1】ポスター・チラシ等(約156万枚)を用いた広報・啓発活動

(自動車関係団体や地方自治体の事務庁舎、高速道路SA等に掲示を依頼)

#### 【2】全国各地で自動車点検整備関連イベント等を実施

(関連イベント:全国77箇所、点検教室:全国115箇所)

#### 【3】全国304社の乗合バス事業者の協力を得て

バス車両に「横断幕」の掲示

#### 【4】「LOVEキャラバン出発式」の開催

(自動車点検整備推進協議会主催、8月30日(水)13時、  
お台場パレットタウンで実施済)

国土交通省では、自動車ユーザーへ適切な点検・整備の重要性を啓発するとともに、確実な点検・整備の励行を積極的に推進しています。

## 2. 東京モーターショー2017

### 【1】東京モーターショーの概要発表

「第45回東京モーターショー2017」が10月27日から11月5日までの10日間(一般公開は28日から)東京ビッグサイトで開催されます。「世界を、ここから動かそう。BEYOND THE MOTOR」をテーマに、国内メーカー14社15ブランド、海外メーカー13社19ブランドが出展するほか、来場者が楽しめる参加体験型企画も数多く用意されています。9月21日には主催の自動車工業会がショーの概要発表を行いました。また、同日から国内出展メーカー14社のホームページとモーターショーの公式ホームページと連動する企画「TMS ジャックデー」も実施しています。

### 【2】部工会が東京モーターショーに出展

日本自動車部品工業会は、「東京モーターショー2017」に会員部品メーカーによる「共同出展ブース」を出展します。全部協の協賛会員でもある大野ゴム工業をはじめ6社が出展予定です。

### 【3】「東京モーターショー」チケットについて

全部協事務局では、組合員に対する東京モーターショーのチケット配布、購入の代行等を行っておりませんのでご了承ください。モーターショーへ入場希望の方は各自でチケットを入手して下さるようお願いいたします。

## 3. 大阪モーターショー

全部協が後援団体として協力する西日本最大級の自動車イベント「第10回大阪モーターショー」が、12月8日から11日までの4日間、インテックス大阪で開催されます。「クルマがクルマを超える日～進化と深化の物語」をテーマに、260社・団体が出展予定です。メルマガの付録として大阪モーターショーのチラシを添付しています。

## 4. 「ZEN-bukyo モール」公開時期について

「ZEN-bukyo モール」サイトの組合員への公開日程を10月2日(月)に

予定していましたが、その後、「ZEN-bukyo モール」サイト制作委託会社と情報専門部会との話し合いで、10月10日(火)とすることになりました。「共同購買サイト」を「ZEN-bukyo モール」へ変更するために、データベース構造が大きく変わる事から、データの移し替えに予想を超えて時間を要することがその理由になっています。

## 5. あっせん販売商品の紹介

全部協(事業運営委員会)では、各種商品販売のあっせんを行っています。現在のあっせん販売商品をご紹介します。全て組合員ルームに掲載しています。

### 1) 補修用ガラス

生駒商事(株)

(株)ビッグウェーブ

の自動車補修用ガラスを取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_h\\_glass.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_h_glass.html)

### 2) 輸入タイヤ

(株)ハンコックタイヤジャパン

(株)ビッグウェーブ(オートウエイループ)

の輸入タイヤを取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_i\\_Tire.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_i_Tire.html)

### 3) リサイクル部品

(株)ビッグウェーブ(リパーツダイレクトシステム)

(株)OSS司(リビルド製品)

を取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_recycle.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_recycle.html)

### 4) 車輻部品検索システム

(株)アペックス

の車両・部品検索システム「アテナ(ATNA)」を取り扱っています。

1) Windows パソコン用「アテナ(ATNA)」

2) タブレット端末用「アテナ(ATNA)」 Android 版、iOS 版

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_atna.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_atna.html)

### 5) 高品位尿素水

有限会社マイコーポレーションの AdBlue(R) (高品位尿素水)

を取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_adblue.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_adblue.html)

## 6. 「共同購買サイト」掲載商品

全部協の「共同購買サイト」には以下の商品を掲載しています。

サイトの URL=<http://zenbk.com/members/login>

共同購買マニュアル「Let's get started!」vol.13 (2013.11.27)

も合わせて参照ください(「共同購買サイト」のお知らせにあります)。

- (1)e-分岐タップ (2)間仕切り透明カーテン (3)バンパー
- (4)フェンダー (5)ボンネット (6)ヘッドランプ
- (7)クリアランスランプ (8)サイドマーカーランプ
- (9)テールランプ (10)知恵袋 (11)P/Sギヤボックス
- (12)触媒 (13)マニュアルミッション (14)パワステポンプ
- (15)ダイナモ (16)セルモーター (17)スノーテックス
- (18)WAVE BOX (19)ラ・クール (20)バイザー
- (21)ショーワグローブ (22)ETC (23)ワイパー
- (24)タイヤ補修用品 (25)ブレーキパッド
- (26)GE 製自動車用バルブ(電球)(NEW)

#### 7. 「共同購買サイト」の“お知らせ”から

「共同購買サイト」トップページの「お知らせ」に以下の記事が掲載されています。ここから、各種商品の案内と注文様式をダウンロードできます。

- 1) GE 製バルブデーターシート(NEW)
- 2) PM システムでのマスター設定マニュアル
- 3) AdBlue(R) あっせん販売案内と注文様式
- 4) フラットワイパーブレード販売開始!!(価格表・適合車種表)
- 5) PB ブランド軽自動車用ブレーキパッド販売開始(適合表・価格表)
- 6) ZEN-ERIC ワイパーリフィール適合車種表
- 7) タイヤ用品・補修用品販売開始((株)プリーマタイヤサプライズ)
- 8) ワイパーリフィール・アソート 100 本 FAX 注文書(pdf 版)
- 9) ワイパーリフィール販売開始!!(価格一覧・互換表)
- 10) TOYOTA ナンバーフレーム一覧 2015 年 8 月現在
- 11) 全部協からの補修用自動車ガラスあっせん販売
- 12) 全部協からの輸入タイヤ販売あっせん開始の案内
- 13) ショーワグローブ製品(6/27 新規チラン追加版)
- 14) ETC 車載器【全部協会員特価】 早いものガチ!
- 15) 間仕切りエコ・カーテン by (株)大成部品
- 16) キャンピング用品 by (株)コイズミ
- 17) シーズン到来?【SnowTex】by(株)コイズミ
- 18) 約 4,000 点【リビルド製品】by OSS 司
- 19) YBP 商品一覧はこちら(PDF 全部協売価入り)
- 20) YBP 商品一覧はこちら(Excel 資料)
- 21) みんなの知恵袋!(OEM 車両編)→便利!!
- 22) e-分岐タップのチランはこちら!

7 | 全部協会議・活動日程 【pdf あり】

---

全部協会議・活動日程につきましては、以下の URL をクリックしてご覧下さい。

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201710/07\\_01\\_h29kaigiyotei-nenkan-10.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201710/07_01_h29kaigiyotei-nenkan-10.pdf)

8 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

---

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL: [http://zenbukyo.or.jp/member/mail\\_form2.html](http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html)

賛助会員 URL: [http://zenbukyo.or.jp/s\\_member/mail\\_form2.html](http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html)

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

9 | 付録

---

1) 「ZEN-bukyoTool モール」専用カタログ及び専用ショッピングサイト案内 【pdf あり】

添付の PDF データ「09\_01\_ZENbukyoTool.pdf」をご覧下さい。

2) メルマガ添付版: デッドストック部品運用ガイドライン 【pdf あり】

添付の PDF データ「09\_02\_dspguidelines.pdf」をご覧下さい。

3) ビジネスレポート・・・大同生命 【pdf あり】

添付の PDF データ「09\_03\_businessreport.pdf」をご覧ください。

4) 東京モーターショー2017 案内 URL

<http://www.tokyo-motorshow.com/>

5) 大阪モーターショー2017 案内 URL

<http://www.osaka-motorshow.com/>

6) 大阪モーターショー2017 案内チラシ 【pdf あり】

添付の PDF データ「09\_06\_osakamotorshow2017.pdf」をご覧ください。

7) リパーツダイレクトの広告

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201710/09\\_07\\_bwrdr.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201710/09_07_bwrdr.pdf)

8) PB 商品の広告

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201710/09\\_08\\_PBpr.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201710/09_08_PBpr.pdf)

9) その他の広告リンク

ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

\*\*\*\*\*

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

\*\*\*\*\*

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局(ジェイシーレゾナンス内)

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F

TEL:03-5565-1642 FAX:03-5565-6909

E-mail:primenews@jc-resonance.co.jp

---

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局